



デザイン / yupinoko

ヘリンボーン カフェトレイ

- HERRINGBONE CAFE TRAY -

【 用 具 】

- A. 電動ドリルドライバー B. 1番ドライバービット
- C. 2.5mm・4mmドリルビット D. のこぎり
- E. ゴムハンマー(金づち可) F. さしがね
- G. 木工用接着剤 H. 鉛筆 I. 消しゴム

クローバー のこぎりガイド

クローバー ドリルガイド

クローバー やすりホルダー

出来上がりサイズ(約) / 455mm × 33mm × 275mm

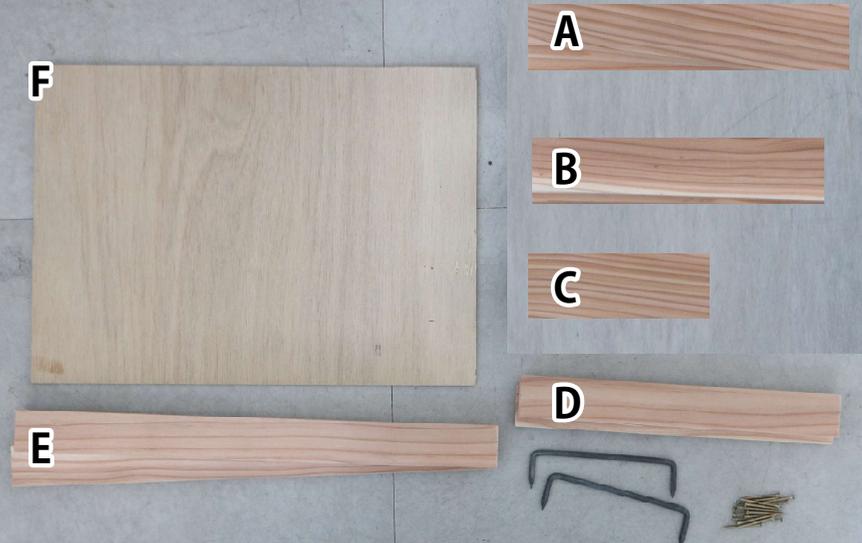
【 材 料 】

- ・杉 材
- ┃A(12×45×230mm) . . . 5枚 ┃
- ┃B(12×45×210mm) . . . 6枚 ┃
- ┃C(12×45×130mm) . . . 2枚 ┃
- ┃D(12×33×250mm) . . . 2枚
- ┃E(12×33×374mm) . . . 2枚

長さを230m
13枚に統一してもOK!

- ・ラワン合板
- ┃F(4×350×250mm) . . . 1枚

- ・その他 材料
- ┃かすがい(5×120) . . . 2本
- ┃ミニビス(32mm) . . . 16本
- ┃オールドウッドワックス
(ラスティックパイン・ジャコビーン・
アンティークグレー・クリア)



#1 ①と②で下から10mmというのは、4mm厚の合板の上に④～⑥の12mm厚の板を乗せ、ビスを12mm厚の板の中心に打つため。
 #2 サンプルは4色を使ってランダムに塗り分けています。
 #3 上端を揃えるため、端材を上面に添わせておくこと。

作り方 - how to make -



01 杉材①の底辺、下から10mmの部分に3か所、2.5mmドリルビットで深さ7mmほどの下穴をあける。**#1**



02 杉材②も同様に、底辺の下から10mmの部分に3か所、さらに両端に1か所ずつ、2.5mmドリルビットで深さ7mmほどの下穴をあける。**#1**



03 杉材③の中央にかすがいを合わせ、針先部分を軽く押し当てて印つけし、4mmドリルビットで深さ10mmほどの下穴をあける。



04 杉材④の2枚の端を、斜め45度にカットする。



05 すべての木材にやすりがけする。



06 お好みの塗料でペイントする。**#2**



07 ラウン合板を縦向きにして、中央に線を描く。



08 杉材④の1枚の片木端と片小口の底側に同角から22.5mmの部分に印をつける。



09 ラウン合板の表面に木工用接着剤を塗る。



10 ⑧の杉材を45度に傾けて、2つの印を合板の線上に合わせ、かつ、直角を合板の上端に合わせる。左上の45度の隙間に④のカットした杉材を合わせる。**#3**



11 以後、貼り合わせ図を参考に残りの④も木端に木工用接着剤を塗りながら同様に貼り合わせて行き、下の方は杉材⑤・⑥を使いながら、合板が隠れるまで貼り合わせる。(貼り合わせ図-1)



12 貼り合わせ図-2



13 貼り合わせ図-3



14 貼り合わせ図-4



15 貼り合わせ図-5

- #1 端材がなければ、後工程②でカットした端材を利用することもできます。
- #2 仮留めはビスを深く打ち込まず、ビスが自立する程度だけ打ち込む。
- #3 金づちで行う場合は、かすがいに傷がつかないようにタオルなどを敷いて叩くと◎。



貼り合わせ図-6



貼り合わせ図-7



貼り合わせ図-8



貼り合わせ図-9



最後に生じる小さな三角部分は端材をカットして張り合わせる。**#1**



はみ出た木工用接着剤をウェットティッシュなどでふき取る。



木工用接着剤が乾くまでおもりなどを乗せて待つ。



乾いたら、裏返しにし、のこぎりで合板からはみ出た部分をカットする。のこ刃を合板に添わせてカットすると◎。



サンドペーパーでカットした面のバリをとる。



②で、塗料が剥げてしまった部分は塗料を重ねる。



杉材◎と㊦の下穴部分にミニビス32mmを仮留めする。**#2**



合板の側面(短辺側)に木工用接着剤を塗り、杉材◎を合わせて固定する。



合板の前後に木工用接着剤を塗り、杉材㊦を固定する。



4mmドリルビットであけた穴に木工用接着剤を1滴垂らし、かすがいをゴムハンマーで打ち込む。**#3**



完成！